

## 〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、22～25℃台を示し、平年並み～やや高めの水温でした。

## 〔漁況概要〕

- 中小型まき網――シケが多かった。西彼地区では、マアジなどが1日1統当たり3トンの水揚げで、前週の1.3倍（前年を下回った）。五島奈留地区では、マアジが1日1統当たり2トンの水揚げで、前週の2倍（前年並み）。北松南部地区では、マサバなどが1日1統当たり15トンの水揚げで、前週の1.4倍（前年を上回った）。
- イカ釣――スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり3kgの水揚げで、前週の60%（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり25kgの水揚げで、前週の18%（前年を下回った）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり59kgの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり104kgの水揚げで、前週の7%（前年を下回った）。
- 定置網――対馬西岸地区では、ヒラマサなどが1日1統当たり133kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり200kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、イサキが1日当たり134kgの水揚げで、前週の46%（前年並み）。

## 〔日本海スルメイカ情報〕

今期（6/24～6/29の6日間）沖合イカ釣（船凍船）は、能登半島沖で操業。赤イカは北太平洋で操業。沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～隠岐諸島周辺～兵庫沖～能登半島沖～佐渡沖～山形沖で操業。鳥取県西部（沖合船）入港船なし。

（漁業情報サービスセンターより）

## 〔お知らせ〕

漁海況通信「第4-13号 五島灘・五島西沖・壱岐水道・対馬東水道の観測結果」を発表しました。漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>